

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和58年～	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名		04	老人福祉施設管理運営事業
		根拠法令・例規等	介護保険法、老人福祉法 備前市デイサービスセンター設置条例
		担当課(室)	介護福祉課 高齢者福祉係
		職・氏名	課長代理 森中 信行
		電話	64 - 1827
		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	要支援、要介護認定者で施設サービスが必要となっている人。
目的(何のために)	上記利用者が、個人の必要に応じた快適な生活を送るため
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	十分役割が果たせるよう、施設の機能の維持・充実

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
老人福祉施設管理運営事業(備前)	老人福祉センター(伊部)は20年度で用途廃止、福祉センター(三石)は20年度で公民館へ移管		
老人福祉施設管理運営事業(和気老)	一部事務組合養護老人ホーム藤見苑に対して分担金を支払うもの。主に起債償還に充てられる		
養護老人ホーム番山荘用地借上事業	番山荘敷地用地、交流広場は借地であるので契約し賃借料を支払っている。		
養護老人ホーム番山荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団により養護老人ホームを運営している。施設は市の所有。		
特別養護老人ホーム大ヶ池荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団により特別養護老人ホームを運営している。施設は市の所有。		
デイサービスセンター番山荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。		
デイサービスセンター大ヶ池荘管理運営事業	指定管理者の福祉事業団によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。		
デイサービスセンターこうら荘管理運営事業	指定管理者の社会福祉法人によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。		
デイサービスセンターしらめ荘管理運営事業	指定管理者の社会福祉協議会によりデイサービスセンターを運営している。施設は市の所有。		
老人憩いの家龍泉荘管理運営事業	老人憩いの家の管理運営事業。市が直営で運営している。		
特別養護老人ホーム亀染荘助成事業	亀染荘建設費償還金に対する助成事業		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		39,396	41,206	33,045
	必要人員(人件費)	千円	0.28人 2,830	0.21人 2,047	0.20人 1,852
	事業費計		42,226	43,253	34,897
	国県支出金		1677	1392	1169
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()				100	
一般財源			40,549	41,861	33,628
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	デイサービス・短期入所年間延利用者数	説明	大ヶ池荘・番山荘短期入所及び大ヶ池荘・番山荘デイサービスの年間延利用者		
	結果指標量	事業	13,252	13,053	13,297
	対前年比	%	98.5%	101.9%	
	活動コスト	円	4,773,505	5,911,359	3,656,681
単位当たりコスト		360	453	275	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
福祉事業団の事業収支(単位:千円)	目標値(A)	30,000	21,000	21,000	20,000
	実績値(B)	30,297	19,144	14,681	到達目標値
	達成率(B/A)	100.99%	91.16%	69.91%	30,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
事業収支額 = 事業収入 - 事業支出					

事務事業の評価		留意事項
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
有効性の評価	効率性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している
	目的達成度	
市民参画度		

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	必要経費は最小限に近い状態に抑えている。老朽化により、緊急に修理が出てくるのは仕方ない。						

総合評価	
老朽化により、今後修理が増えてくるが、計画的に行う必要がある。必ずしも、市がかかわらなくてもよい事業であるので社会福祉事業団に施設を譲渡することも検討事項になると考えられる。	評価区分 <A-E> C

平成23年度の方針性及び取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	指定管理制度は26年度まで協定を結んでいる。大ヶ池荘の食堂増築工事をおこなう予定。入所者の適正サービスをおこなうために必要。						

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項の目的が有効な数値目標であること、結果指標に

